

日本医労連

2002年度 NO.22 2003. 9. 12

青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX：03-3875-6270

ニュースやネタは... n-ootani@irouren.or.jp までお寄せください

*このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送っています。青年の会議で配るなど、多くの青年に渡るようご協力ください！

アクトに 603 名 *Did you feel the "ACT SPIRITS"?*



北海道から沖縄まで。全国から山代温泉に集結

8月22日(金)～24日(日)「第12回全国アクト・イン・石川」が山代温泉にて開催され、全国から603名が参加しました。遠く福島・宮城、東京・群馬・長野、奈良・兵庫、大阪・京都、岡山はそれぞれ貸切りバスで参加してくれました！東北から一晩かけて車で来てくれた人も。

「開会式」の後は3職種青年によるシンポジウム。航空(客室乗務員組合：JASの中元真美さん)・教職(全国教職員組合：森本浩寿さん)・医療(三村真理子青年協議長)で仕事・組合・平和について。滅多に聞けない他職種の運動や現状が聞けました。また職種は違ってても人不足や平和問題など、共通する課題がたくさんあることが明らかに。

ナゾの「アクト変隊」に導かれ、ストレッチで始まった運動会も大好評

2日目午前中は「大運動会」。小松ドームでドッジボール、むかで競争、ジェンカを楽しみました。その後は班ごとの「コース別ランチ」。ランチとあわせて九谷焼の絵付けなどの伝統工芸、ふどう狩り、地ビール館コースに分かれて交流を深めました。

パワー炸裂！怒涛の「夜祭り」。地域色豊かな出し物と一体感に感動

メイン・イベントともいえる「夜祭り」は、山陰医労連・西川労組の「石見神楽」で幕を開け、続けて北海道の「イカ踊り」、沖縄の「エイサー」、東海北陸「ロックソーラン」、関西「六甲おろし」、九州「汽車ぽっぽ」、四国「よさこい」、中国「うらじゃ」、関東「ダンス」、そしてトリは東北の「ねぶた」...みんなで手をつないでフィナーレ。出演者も観客も一体となって踊り、笑い、楽しみました。



楽しかった...

まだ帰りたくない...再来年、北海道で会いましょう

最終日、班のみんなと別れを惜しんだ後に閉会式。3日間を振り返りました。そこで2004年8月の13回全国アクトは北海道で開催されることが公表され、2年後の再会を誓い合いました。最後に赤いベストの実行委員に見送られ、参加者は帰路に。

参加・ご協力いただいた皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました！

今年の青代は 10/25・26、岡山倉敷だ！

青年代表者会議は、日本医労連青年協の“定期大会”にあたる大事な会議。1年間の活動を振り返り、反省と成果を明らかにし、それを生かしてまた新しい1年間でどういうふうに活動していくか話しあって決めます。

今年は第27回にあたり、10月25日(土)14時~26日(日)12時まで予定されています。場所は風光明媚な環境保護区で有名な、岡山県倉敷市です。会場・宿泊は「ホテル倉敷」倉敷駅の駅ビル内のホテルです。各全国組合・都道府県医労連より必ず代表者を出して下さるようお願いいたします。



倉敷で待つ！！

"働く"とは？

千葉県労連青年部の "最低賃金生活体験" に
千葉勤医労からも参加 1日977円で生活

千葉県労連青年部は「時給677円」の生活体験をしました。県医労連にも加盟している勤医労からも3名がチャレンジ。そのうちの1人、中河哲男君がレポートを送ってくれました。

「取り組んだ理由は、千葉県の最低賃金(以下、最賃)677円への疑問からです。最賃は、法律による賃金の最低ライン。この高低が、最賃以上の労働者を含む全労働者の賃金に影響します。実際コンビニの本部では各店舗に「あなたの地域の最賃は 円なので、それ以上の額でバイト募集せよ」と指示しています。じゃあ、この「最低ライン」はどうあるべきか。少なくとも「まともに暮らせる」もの、また憲法25条の「健康で文化的な」生活ができるものにすべきではないでしょうか？

実際に最賃で暮らすと普通の生活とどう変わるのか。6月23日から1ヶ月で体験。1日の予算を算出してみると、時給677円で8時間×22日間=月収11万9152円。ここから社会保険料・所得税・家賃水道光熱費・電話料金等を引いた金額を30日で割ると、私の場合は1日に使えるのは997円でした。(中川君のレポートより)

この後は涙ぐましい努力の日々が日記形式で綴られています。

6月24日(火)「弁当に肉は高いので入れない」「半額セールひき肉(100g44円)を購入。定価じゃ買えない生活だ。ビールは2日連続で我慢」6月26日(木)「仲間に近況を聞くと仕事以外は食べ物のことばかりと。毎日食材の値段を気にする。心まで貧しくなっていくようだ。今日は八百屋に並ぶスイカがいつも以上にうまそうに見える」...(後も続く)

脱落者が続出するなか、中川君は無事完走。しかし完走者の中には栄養失調になった人も。「賃金とは？働くとは？」あなたもチャレンジしてみますか？(「最賃体験」は、9/2付の『毎日新聞』夕刊の1面で取り上げられています)

